

## 【景観まちづくり活動】

### ■甲子園けやき散歩道

この散歩道では、地域の住民が清掃活動を行うなど、けやき並木を自分達で守り、地域を盛り上げていこうとする心意気を感じられます。このような活動が認められ、第5回西宮市都市景観賞のまちなみ発見クラブ賞（平成22年度）を受賞しています。

並木の緑は景観だけではなく住環境も豊かにします。それらを守る活動がこれからも続くことを期待しています。



### ■甲子園一番町「環境保全地区宣言」

このコースにはこのような「立て看板」が見られます。相次ぐマンション計画に苦勞を重ねていた自治会は、昭和63（1988）年6月、環境保全地区宣言を行い町内の数ヶ所に看板を設置し、中高層マンションを抑制する活動に立ち上がったそうです。それでも、なかなかトラブルは無くならず、最終的には法的拘束力をもった「地区計画」を策定することとなりました。（平成12年策定）

今でも、当時の想いを記した宣言を「かたち」（看板）として残すことで、その想いを忘れず大切にしながら、より魅力的なまちづくりに取り組まれています。

「東甲子園公園」（住民参加による公園づくり）もあわせて見学されてはいかがでしょうか。（場所は地図を参照）



### ■素盞鳴（すさのお）神社でお聞きしました

\*このコースの終点にある素盞鳴神社で、宮司さんにいろいろと教えていただきました。

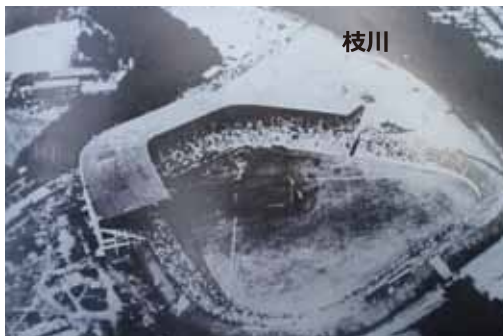
社務所入口には「鳴尾村砂浜新開場絵図（享保18年（1733）作成）」が掲げられています。武庫川支流の旧枝川と申川の分岐点に素盞鳴神社が描かれていて、かつての甲子園筋の様子がよくわかります。

旧枝川の松並木が写っている明治時代の祠の写真や甲子園球場建設当時の航空写真を見せていただきました。現在の阪神甲子園駅周辺の松並木がはっきり分かり、広い川幅が見て取れます。

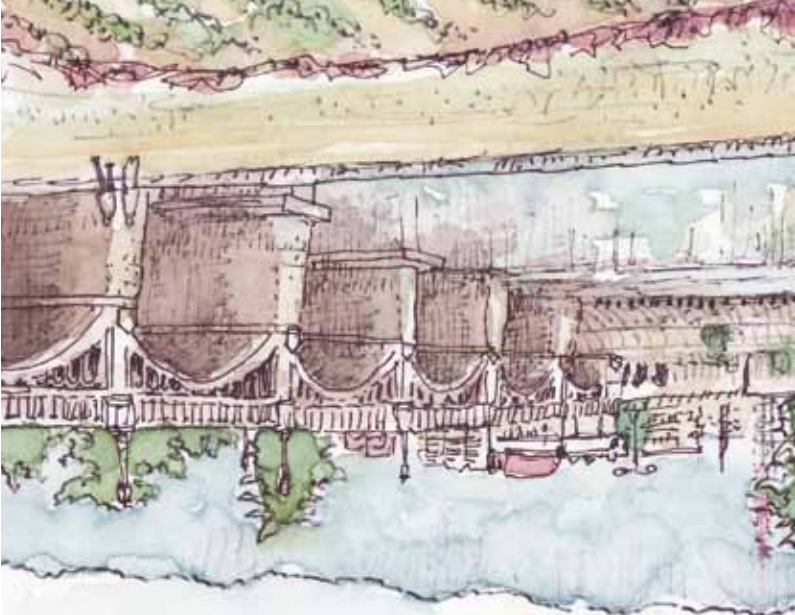
また、このコース図をお見せすると「開発により時代とともに徐々に旧枝川の土手が切りさげられたのが残念だ。高台はできるだけ残してほしい」とおっしゃっていました。



鳴尾村砂浜新開場絵図



かつて甲子園筋は枝川でした

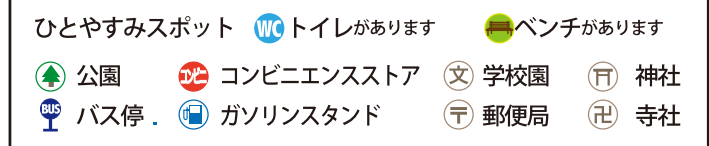


## 【西宮まちなみ発見 MAP】について

西宮まちなみ発見クラブでは、平成25年の活動として、西宮の歴史・自然・暮らしを感じる「景観みどころコース」を作成しました。今回はさらにその中から5つのコースを選んで、携行用の「西宮まちなみ発見MAP」として完成させました。

このMAPを片手に、西宮の魅力に触れてみてください！

### ■コースマップにあるマークの見方



## 【西宮まちなみ発見クラブ】とは

西宮まちなみ発見クラブは、公募による市民で構成されるクラブで、平成17（2005）年より活動しています。景観に関する情報の共有や意見交換を通じて西宮のまちなみについて考え、美しいまちなみづくりを目指す活動を行っています。

平成27（2015）年3月2日発行  
企画・制作：西宮まちなみ発見クラブ  
協力：関西学院大学 社会連携プロジェクト「西宮まちづくり」チーム  
西宮まちなみ発見クラブ事務局：西宮市役所景観まちづくり課（0798-35-3526）

## ■旧枝川と阪神間モダニズムの建造物を訪ねて

武庫川の支流であった旧枝川は、大正時代に廃川となり埋め立てられました。その跡地が開発されて、西宮七園の一つである甲子園が生まれました。その周辺地域には大正から昭和にかけて開花した阪神間モダニズムの名残を色濃く留めた旧新田邸（松山大学温山記念会館）、旧甲子園ホテル（武庫川女子大学）、武庫大橋などがあります。

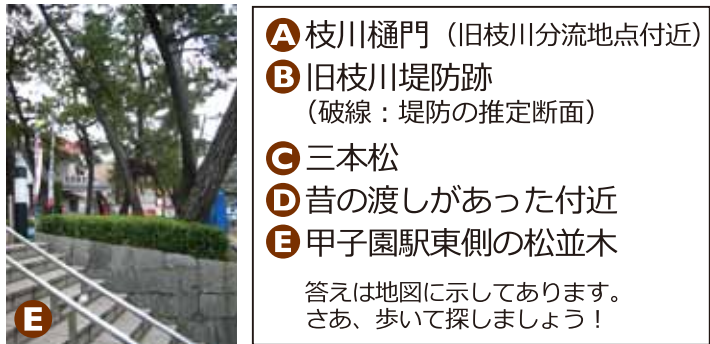
このコースは旧枝川に沿って歩きながら、当時の川の名残を見つけ、それが現在どの様にまちなみの景観に関わっているかを発見しつつ、阪神間モダニズムの建造物も訪ねることができる楽しいコースです。

\*イラスト（表紙と下）：橋弘 / 西宮市在住・画家



## ■旧枝川の名残を発見しましょう！

このコースは、旧枝川に沿って歩くので、その名残が随所に見られます。さて下記の写真の場所はどこにあるのでしょうか？



- A 枝川樋門（旧枝川分流地点付近）
- B 旧枝川堤防跡（破線：堤防の推定断面）
- C 三本松
- D 昔の渡しがあった付近
- E 甲子園駅東側の松並木

答えは地図に示してあります。さあ、歩いて探しましょう！

## ■阪神間モダニズムとは

大正時代から昭和初期にかけて、阪神間では鉄道の開通とともに西洋文化が浸透して新しい生活様式が築かれました。その時代の美術、建築などの文化的傾向は「阪神間モダニズム」と呼ばれています。このコースには、旧甲子園ホテル、旧新田邸、武庫大橋などの有名な建造物があります。



旧甲子園ホテル

## ■西宮市都市景観賞

西宮市都市景観賞は、美しいまちなみづくりに一役買っている建築物や広告物、活動などを表彰し、景観に対する意識向上を図るものです。この賞は、概ね5年ごとに実施されており、前回（平成22年度）より市民の目線から選ぶ、「まちなみ発見クラブ賞」が設けられました。

このコース上では、甲子園球場と甲子園けやき散歩道が受賞しています。



甲子園けやき散歩道（旧国道）

## ■老舗の和菓子屋さんでお聞きしました

\*お店は、甲子園筋と国道2号線の交差点に位置しており、昭和20（1945）年の終戦の年に創業し、現在も営業されています。店構えは老舗の和菓子屋さんの雰囲気を感じ出す和風建築です。奥の作業場で手作りにこだわった和菓子をつくられている二代目店主にいろいろと教えていただきました。

旧枝川についてお聞きしたところ、旧枝川の松並木の写真を見せて下さり「店の前に小さな橋があった」とおっしゃっていました。少し離れた場所に「@枝川橋石標」があります。

旧枝川の廃川後、その跡地に阪神電鉄が路面電車の甲子園線を敷設しました。道路中央にあった停留所は乗降客で賑わっていましたが、昭和50（1975）年に廃線となりました。

阪神・淡路大震災でお店は被害にあわれたとのことですが、和風建築を残し、修復・増築して営業しておられます。かつて、店先には藤棚が設けられていたそうです。藤棚の日陰と旧枝川のまちなみ。のどかな時代が想像されます。



甲子園筋のまちなみ（旧枝川）



甲子園筋を走る路面電車



## 1 新堀川筋／甲子園口1丁目

新堀川では、川沿いの木々の緑と川面がまちなみの景観を創り出しています。特に桜の開花時期は美しい景観ポイントです。



## 2 旧新田邸（松山大学温山記念会館）／甲子園口1丁目

スペイン風洋館の旧新田邸は広大な庭園の中にあり、大正から昭和にかけて開花した「阪神間モダニズム」の名残を色濃く留めています。（西宮市都市景観形成建築物指定 / 文化庁登録有形文化財）



## 3 新堀川石垣／甲子園口2丁目

旧枝川の土手に沿って造られたお城を思わせる美しい石垣があります。この一角は、昭和初期の建設当時と地形が変わることなく、新堀川の川筋とともにまちなみの景観を形成しています。



## 4 旧甲子園ホテル（武庫川女子大学）／戸崎町

「阪神間モダニズム」を代表する建築で、日本の伝統美を生かした洋風建築としても名高い建物です。12月にはライトアップされ、美しい夜景が楽しめます。（西宮市都市景観形成建築物指定 / 文化庁登録有形文化財 / 国の近代化産業遺産）



## 5 武庫大橋／西宮市↔️尼崎市

日本百名橋に選ばれた「阪神間モダニズム」建造物のアーチ橋です。高欄、バルコニーは石造りで、丁寧にデザインされています。ここからは六甲山と旧甲子園ホテルが見えるため、最高の眺望ポイントとなっています。（土木学会選奨土木遺産）



## 6 枝川橋石標／甲子園二番町



旧枝川に架かっていた枝川橋の跡に建てられた石標です。甲子園筋の歩道の脇にひっそりとありました。当時どの様な橋が架かっていたか興味が湧きます。

## 10 甲子園球場／甲子園町

以前の球場はツタがシンボルでした。新しくなった球場でも少しずつ成長しています。ツタに覆われた球場の景観が待たれます。新しい球場は第5回西宮市都市景観賞を受賞しています。



## 9 甲子園駅西側の松並木／甲子園高潮町

阪神甲子園駅の西側には、旧枝川の面影を残すこんもりとした土手があります。ここには松並木が残っており、まちなみによく溶け込んでいます。いつまでも大切にしたいものです。



## 8 北郷公園／甲子園三番町

旧枝川の堤防の面影を残した小高い地形になっており、大きな松もそびえ立つ緑豊かな公園です。公園の一角には義民碑があります。



## 7 甲子園筋／甲子園一番町～甲子園九番町

甲子園筋は、旧枝川が流れていた跡地に整備されました。沿道の小高いところはかつての土手で、時が経つとともに地形は削られ変わってきています。廃川後に阪神電鉄の路面電車の甲子園線が走っていました。

